

Theoretical Studies of Hydrocarbon Oxidation Catalyzed by Iridium- and Ruthenium-Oxo Complexes in the Coexistence of Water

池田, 京

<https://hdl.handle.net/2324/4784560>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	池田 京			
論 文 名	Theoretical Studies of Hydrocarbon Oxidation Catalyzed by Iridium- and Ruthenium-Oxo Complexes in the Coexistence of Water (水共存下におけるイリジウムおよびルテニウムオキソ錯体による炭化水素の酸化に関する理論的研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	吉澤 一成
	副 査	九州大学	教授	小江 誠司
	副 査	九州大学	教授	石原 達己
	副 査	九州大学	准教授	塩田 淑仁

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、水分子から犠牲試薬を用いることなく反応活性を有するイリジウムオキソ錯体およびルテニウムオキソ錯体を生成し、水共存下においてそれぞれメタンおよびベンゼンの水酸化反応を触媒できる新規イリジウム錯体およびルテニウム錯体を理論化学的な観点から提案している。本研究では新規触媒の提案を行うだけでなく、触媒設計指針に関する極めて有益な成果を示しており、理論化学および触媒化学上価値ある業績であると認める。よって、本論文は博士(工学)の学位論文に値すると認める。